```
7 ANSWER 83 OF 83 CAPLUS COPYRIGHT 2003 ACS on STN AN 1991:618942 CAPLUS DN 115:218942
```

TI Optical information recording media using polymethine dye and triphenylamine derivative as quencher

Sato, Tsutomu; Sakaeda, Tatsuya; Ichinose, Keiko

PA Ricoh Co., Ltd., Japan

SO Jpn. Kokai Tokkyo Koho, 5 pp.

CODEN: JKXXAF

DT Patent

IN

LA Japanese

IC ICM B41M005-26

ICS G11B007-24

CC 74-12 (Radiation Chemistry, Photochemistry, and Photographic and Other Reprographic Processes)

FAN.CNT 1

	PATENT NO.	KIND	DATE	APPLICATION NO.	DATE
ΡI	JP 03000291	A2	19910107	JP 1989-133823	19890526
PRAI	JP 1989-133823		19890526		

OS MARPAT 115:218942

GI For diagram(s), see printed CA Issue.

AB The title media, prepd. by forming a recording layer contg. an org. dye whose main constituent is a polymethine compd. and optionally a protective layer on a substrate with or without an undercoat layer. The media contain in the recording layer a triphenylamine deriv. I [R, R1-8 = H, halo, OH, NO2, CN, (substituted) alkyl, alkoxy, acyl, amino; X = anion such as halo, ClO4, SbF6, BF4, alkylsulfuric acid, etc.; m = 1-4; n, p, q, r, s, t = 0-5; u, v, w = 0-4]. The media are easy to prep., and show good light and thermal stability. Thus, a poly(Me methacrylate) disk substrate was coated with a compn. contg. a polymethine dye II and I (R = R1-8 = H, X = SbF6, m = 1) to give an optical disk.

ST optical information recording medium; triphenylamine quencher optical medium; polymethine dye optical recording medium

IT Recording materials

(optical, contg. polymethine dye and triphenylamine deriv. as quencher)

16595-48-5 91318-44-4 136821-06-2 136896-91-8

RL: TEM (Technical or engineered material use); USES (Uses)

(optical recording material contg.)

IT 136794-08-6 136794-10-0 136794-12-2 136794-20-2 **136862-32-3** 136983-25-0

RL: USES (Uses)

(quencher, optical recording material contg.)



End of Result Set

Generate Collection Print

L5: Entry 3 of 3

File: DWPI

Jan 7, 1991

DERWENT-ACC-NO: 1991-048026

DERWENT-WEEK: 199609

COPYRIGHT 2003 DERWENT INFORMATION LTD

TITLE: Optical information recording medium - contg. tri:phenylamine complex in recording layer, has good light and heat stability

PATENT-ASSIGNEE:

ASSIGNEE CODE RICOH KK RICO

PRIORITY-DATA: 1989JP-0133823 (May 26, 1989)

PATENT-FAMILY:

PUB-NO PUB-DATE LANGUAGE PAGES MAIN-IPC

JP 03000291 A January 7, 1991 000

APPLICATION-DATA:

PUB-NO APPL-DATE APPL-NO DESCRIPTOR

JP 03000291A May 26, 1989 1989JP-0133823

INT-CL (IPC): B41M 5/26; G11B 7/24

ABSTRACTED-PUB-NO: JP 03000291A

BASIC-ABSTRACT:

In an optical information recording medium, prepd. by disposing a recording layer contg. an organic dye with a polymethine cpd. base directly or through a prim. coat on a substrate and further, by disposing a protective layer on the recording layer, as required, a cpd. represented by formula (I) is contained in the recording layer.

In (I) R1 to R9 represent H, a halogen, or -OH, -NO2, cyano, opt. substd. alkyl, alkoxy, acyl, or amino gp.; A is an acid anion such as halogen, ClO4, SbF5, BF4, alkyl sulphuric acid, or the like, k is 1-4; l, m, n, o, p, and q are 0-5; and x, y, and z are 0-4.

ADVANTAGE - The optical information recording medium has excellent light stability and heat stability, so that it has improved repeated reproduction characteristics and improved storage stability.

CHOSEN-DRAWING: Dwg.0/0ye

TITLE -TERMS: OPTICAL INFORMATION RECORD MEDIUM CONTAIN TRI PHENYLAMINE COMPLEX RECORD LAYER LIGHT HEAT STABILISED

DERWENT-CLASS: E14 G06 P75 T03 W04

CPI-CODES: E10-A15A; E10-A15F; E10-B01A; G06-A08; G06-C06; G06-D07; G06-F05;

WEST

Generate Collection

Print |

L5: Entry 1 of 3

File: JPAB

Jan 7, 1991

PUB-NO: JP403000291A

DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 03000291 A
TITLE: OPTICAL DATA RECORDING MEDIUM

PUBN-DATE: January 7, 1991

INVENTOR - INFORMATION:

NAME

COUNTRY

SATO, TSUTOMU SAKAEDA, TATSUYA ICHINOSE, KEIKO

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME

COUNTRY

RICOH CO LTD

APPL-NO: JP01133823 APPL-DATE: May 26, 1989

US-CL-CURRENT: $\frac{428}{411.1}$; $\frac{428}{914}$ INT-CL (IPC): $\frac{428}{410}$, $\frac{411.1}{5/26}$; $\frac{428}{7/24}$

ABSTRACT:

PURPOSE: To obtain an optical data recording medium excellent in repeating reproduction characteristics by containing a specific compound having high solubility and compatibility and excellent in light stability and heat stability in a recording layer as a quncher.

CONSTITUTION: A recording layer composed of an org. dye based on a polymethine compound and containing a compound represented by formula (wherein R1-R9 are hydrogen, halogen, a hydroxyl group, a nitro group, a cyano group, a substituted or non-substituted alkyl group, an alkoxy group, an acyl group or an amino group, A is halogen or an acid anion such as ClO4, SbF6, BF4 or alkyl sulfate, k is an integer of 1-4, l, m, n, o, p and g are an integer of 0-5 and x, y and z are an integer of 0-4) is provided on a substrate. If necessary, an undercoat layer can be provided between the substrate and the recording layer or a protective layer can be provided on the recording layer. Further, an air sandwich structure wherein a pair of recording medii are hermetically sealed through other substrate and a space so that the recording layers thereof are set on the inside or a closely bonded sandwich structure wherein said medii are bonded through the protective layers thereof may be employed.

COPYRIGHT: (C) 1991, JPO&Japio

⑫ 公 開 特 許 公 報(A) 平3-291

®Int. Cl. 5

識別記号

庁内整理番号

四公開 平成3年(1991)1月7日

B 41 M G 11 B 5/26 7/24

8120-5D 6715-2H Α

5/26 B 41 M

Y

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全5頁)

Q発明の名称 光情報記録媒体

> 顧 平1-133823 创特

願 平1(1989)5月26日 22出

79発 明 佐 藤 明 Ħ 者

東京都大田区中馬込1丁目3番6号 株式会社リコー内 勉

也

東京都大田区中馬込1丁目3番6号 株式会社リコー内

辰 @発 明 - ノ瀬 恵 子 個発

東京都大田区中馬込1丁目3番6号 株式会社リコー内

東京都大田区中馬込1丁目3番6号 の出 顧 人 株式会社リコー

四代 理 弁理士 池浦 敏明 外1名 ,

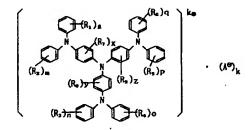
1. 発明の名称

光情報記録媒体

2. 特許請求の範囲

(1) 基板上に直接又は下引き層を介してポリメチ ン化合物を主成分とする有機色素を含む記録層を 設け、さらにその上に必要に応じて保護階を設け てなる光情報記録媒体において、前記記録層中に、 下記一般式(1)で表わされる化合物を含有させた ことを特徴とする光情報記録媒体。

一般式(1):



(上記式中、Rx~R,は水煮、ハロゲン、水酸基、 ニトロ基、シアノ基、置換もしくは未置換のア ルキル基、アルコキシ基、アシル基又はアミノ 基、Aはハロゲン、CSO。、SbF。、BF。、アルキル 破散等の酸アニオンを表わし、kは1~4の整数、 ß, m, n, o, p, qは0~5の整数、x, y, zは0~4の整数で ある。)

3. 発明の詳細な説明

(産業上の利用分野)

本発明は光記録分野に使用することのできる改 善された光情報記録媒体に関する。

〔従来の技術及び発明が解決しようとする課題〕

これまで、光情報記録媒体として基板上に低融 点金属または低融点金属と誘電体とからなる記録 *慢を設けたものなどが*提案されているが、これら[、] は保存性が悪い、分解能が低い、記録密度が低い、 製造条件が難しくコスト高になるなどの欠点を有 する。そこで、最近になって記録層として金属器 膜に代えて有機色素薄膜を使用することが提案さ れている。この有機色素磷膜は融点、分解温度が 低く、熱伝導率も低いので高感度、高密度化の可 能性があること、また膜形成がコーティングによ

り可能なため量産性が高く、低コスト化が期待できるなどの利点がある。

従来、前記有機色素苺膜として、シアニン色素やメロシアニン色素等のポリメチン化合物の被膜を用いることは知られている。しかし、このような色素で構成された記録層は、熱及び光安定性に劣り、保存性に難点がある上、再生劣化しやすいという欠点がある。

このようなポリメチン色素の熱及び光安定性を改良するため、従来、金属錯体クエンチャーが精力的に研究されてきた(例えば特開昭63-1584号、開63-9576号、同63-31792号、同63-67187号、開63-78794号、同63-82789号、同63-102047号、同63-16518号、同63-165182号、同63-168393号、同63-209890号、同63-202492号、同63-29991号、同63-307854号公報等)。ところが、この系統の化合物の最大の欠点は溶解性が低いこと及びポリメチン色素との相溶性が悪いことである。これは、生産性が高く、低性の強い溶剤が使用できない状

点があり、このため繰返し再生特性が悪い結果を 示していた。すなわち、従来のアミニウム化合物 クエンチャーは光安定性化能は優れているものの、 熱安定性が悪いため、実際の繰返し再生特性の良 好なものは得られていないのが実情であった。

本発明は、このような従来技術の問題点を解決するためになされたもので、溶解性及び相溶性が高く、光及び熱安定性の優れた化合物をクエンチャーとして記録層中に含有させ、繰返し再生特性に優れた光情報記録媒体を提供することを目的とする。

(課題を解決するための手段)

上記目的は、光情報記録媒体における記録層中 に下記一般式(I)で表わされる化合物を含有させ ることにより達成される。 況で、なお一別重要な問題となっている。そこで、 この金属館体クエンチャーでは溶解性を向上させ る試みが種々なされているが、満足な結果が得ら れているものは、傷くわずかである。

一方、溶解性及び相溶性の高いクエンチャーと しては、アミニウム化合物クエンチャーがあり、 種々の研究がなされている(例えば、特開昭63-40 390号、同63-107590号、同63-168392号、周63-18 9292号、 同63-226642号、 同63-299989号、 同63-2 99979号、開63-309497号公報等)。このアミニウ ム化合物クエンチャーは、クエンチャー本来の機 飽であるポリメチン色素の光安定化能については、 金属錯体クエンチャーと同等以上の特性を示す。 ところが、従来のアミニウム化合物クエンチャー には次のような問題があった。光ディスクの繰返 し再生時における再生特性には、レーザー光によ る光劣化モードと、レーザー光が吸収され熱変換 された後の熱劣化モードの両方の劣化モードが形 響を及ぼす。しかし、従来のアミニウム化合物ク エンチャーは熱安定性が思く、熱劣化モードに難

一般式(1):

$$\left(\begin{array}{c|c} & & & & & & & \\ & & & & & & & \\ & & & & & & & \\ & & & & & & & \\ & & & & & & & \\ & & & & & & & \\ & & & & & & & \\ & & & & & & \\ & & & & & & \\ & & & & & & \\ & & & & & & \\ & & & & & & \\ & & & & & & \\ & & & & & & \\ & & & & & & \\ & & & & & & \\ & & & & & & \\ & & & & & & \\ & & & & & & \\ & & & & & & \\ & & & & & \\ & & & & & \\ & & & & & \\ & & & & & \\ & & & & & \\ & & & & & \\ & & & & & \\ & & & & & \\ & & & & \\ & & & & \\ & & & & \\ & & & & \\ & & & & \\ & & & \\ & & & \\ & & & \\ & & & \\ & & & \\ & & & \\ & & & \\ & & & \\ & & & \\ & & & \\ & & & \\ & & & \\ & & & \\ & & & \\ & & & \\ & & \\ & & & \\ & \\ & & \\ & & \\ & & \\ & & \\ & & \\ & \\ & & \\ & & \\ & \\ & & \\ & & \\ & \\ & & \\ & &$$

(上記式中、R₁、R₂は水素、ハロゲン、水酸基、 ニトロ基、シアノ基、置換もしくは未置換のア ルキル基、アルコキシ基、アシル基又はアミノ 基、Aはハロゲン、CAO。、SbFa、BFa、アルキル 硫酸等の酸アニオンを表わし、kは1-4の整数、 a,n,n,o,p,qは0~5の整数、x,y,zは0~4の整数で ある。)

本務明の光情報記録媒体は、基本的には基板上 にポリメチン化合物を主成分とする有機色素からなり、かつ前記一般式(I)で表わされる化合物を 合有させた記録層を設けることにより構成される が、必要に応じて基板と記録層との間に下引き層をあるいは記録層の上に保護層を設けることができる。また、このようにして構成された一対の記録媒体を記録層を内側にして他の基板と空間を介して密封したエアーサンドイッチ 適にしてもよくあるいは保護層を介して接着した密着サンドイッチ(貼合せ)構造にしてもよい。

次に、本発明の光情報記録媒体を構成する材料 および各別の必要特性について具体的に説明する。

基板の必要特性としては基板側より記録再生を 行う場合のみ使用レーザー光に対して透明でなければならず、記録側から行う場合は透明である必要はない。基板材料としては例えばポリエステル、アクリル樹脂、ポリアミド、ポリカーボネート樹脂、ポリオレフィン樹脂、フェノール樹脂、エポキシ樹脂、ポリイミドなどのプラスチック、ガラス、セラミックあるいは金属などを用いることができる。

なお、基板の表面にはアドレス信号などのプレ

リン系、ジオキサジン系、トリフェノチアジン系、 フェナンスレン系、アントラキノン(インダンス レン)系、キサンテン系、トリフェニルメタン系、 トリフェニルアミン系、アズレン系染料や、金属 又は金以化合物、例えば、In,Sn,Te,Bi,Ag,Se, TeOz, SnO, Ag, Cu等を混合分散させてもよく、また 積層してもよい。記録層には、その他、高分子材 料もしくは低分子材料、保存安定剤(金鳳鑽体、 フェノール系化合物)、分散剤、難燃剤、滑剤、 可塑剤等を含有させることができる。記録層の膜 厚は100A-10m、好ましくは200A-2mである。 記録層の形成方法としては、蒸着、CVD法、スパ ッター法の他、溶剤強工法、例えば、浸漬コーテ ィング、スプレーコーティング、スピナーコーテ ィング、ブレードコーティング、ローラコーティ ング、カーテンコーティング等を用いることがで きる.

(3) 下引き層

下引き圏は(a)接着性の向上、(b)水又はガスなどのパリヤー、(c)配録層の保存安定性の向上及

フォーマットや案内海のプレグルーブが形成され ていてもよい。

(2) 記錄層

記録別はレーザー光の照射により何らかの光学的変化を生じさせその変化により情報を記録できるもので、その主成分がポリメチン化合物を主成分とする有機色素からなっており、かつ前記一般式(1)で扱わされる化合物が含有されている。ポリメチン化合物と該化合物は重圧で30:70~99:11、好ましくは60:40~95:5の初合で用いられる。該化合物は、記録特性及で定性向上のために、2程以上組合せて用いてもよい。ポリメチン化合物には、ポリメチン色素、シアニン色素、メクロシスクアリリウム色素、ピリリウム色素、スクアリリウム色素、ピリリウム色素、スクアリリウム色素、アグアンの具体例としては、例えば、特開昭58~194595号公報等に記載されているものがある。

本発明の記録媒体における記録層には、記録特性及び安定性向上のために、必要に応じ、他の染料、併えば、フタロシアニン系、テトラヒドロコ

び(d) 反射率の向上、(e)溶剤からの基板の保護、 (f) プレグループの形成などを目的として使用さ れる。(a)の目的に対しては高分子材料、例えば、 アイオノマー樹脂、ポリアミド樹脂、ピニル系樹 **聞、天然樹脂、天然高分子、シリコーン、液状ゴ** 、ムなどの種々の高分子物質及びシランカップリン グ剤などを用いることができ、(b)及び(c)の目的 に対しては上記高分子材料以外に無機化合物、例 えば、SiOz, MgFz, SiO, TiOz, ZnO, TiN, SiNなど、金 鳳または半金鳳、例えば、Zn,Cu,S,Ni,Cr,Ge,Se, Au.Ag.Agなどを用いることができる。また、(d) の目的に対しては金属、例えば、A&,Ag等や、金 風光沢を有する有機薄膜、例えば、メチン染料、 キサンテン系染料等を用いることができ、(a)及 び(f)の目的に対しては、紫外線硬化樹脂、熱硬 化樹脂、熱可塑性樹脂等を用いることができる。

(4) 保護層

保護層は、(e) 記録層をその傷、ホコリ、汚れ 等から保護する、(b) 記録層の保存安定性の向上、 (c) 反射率の向上等を目的として使用される。こ れらの目的に対しては、前記下引き圏に示した材料を用いることができる。

また、本発明においては、前記下引き周又は保 設層中に前記一般式(I)で表わされる化合物を含 有させることができる。

本発明においてクエンチャーとして使用する前配一般式(I)で表わされる化合物は、従来のトリフェニルアミン化合物が融点100~130℃、分解点180~230℃であるのに比べ、融点180~250℃、分解点200~260℃と大幅に競安定性が向上している。ここで前配一般式(I)で表わされる化合物の具体例を表-1に示す。

(実施例)

以下に実施例をあげて本発明をさらに説明するが、本発明はこれら実施例のみに限定されるものではない。

(実施例1)

厚さ1.2 mのポリメチルメタクリレート(PHHA) 板(直径130 m)上にアクリル系フォトポリマーにより深さ2000人、半値幅0.4 m、ピッチ1.6 mのらせん状窓内襷を設けたものを基板とし、設基板上に下記色素(I)と前記化合物 m1とを100:15の重量比で1.2-ジクロルエタン溶液としてスピナー塗布して厚さ約800人の記録層を形成し、記録媒体を得た。

(実施例2)

実施例1において、前記化合物 km 1の代わりに前記化合物 km 4を用いた以外は同様にして記録媒体

一般式(I):

$$\begin{pmatrix}
(R_a)_a & (R_e)_q \\
(R_a)_x & (R_a)_p \\
(R_a)_y & (R_a)_z \\
(R_a)_y & (R_a)_o
\end{pmatrix} k_{\Phi}$$

$$(R_a)_{\Phi} (R_a)_{\Phi} (R_a)_{\Phi}$$

$$(R_a)_{\Phi} (R_a)_{\Phi} (R_a)_{\Phi}$$

表 - 1

化合物品	R ₁ ,R ₂ ,R ₅	Rz,R,,Rs	R, ~R,	A	K
1	Н	H	Н	SbF.	1
2	Н	Н	Н	2C40.	2
3	Н	H	Н	AsF.	1
4	CH ₂	Н	Н	SbFe	1
5	CH ₃	Н	H	CzHsSOs	1
6	CH ₂	CH ₂	Н	BF.	1
7	СЊ	CH ₂	Н	PF₅	1
8	OCH,	. Н	Н	SbF ₆	1
9	OCH ₂	Ħ	H	2C.0	2
10	OCH,	OCH.	Н	SbF _o	1
11	CE	CA	Н	SbF ₆	1
12	N(He) ₂	H	Н	SbF.	1
13	N(He) ₂	N(Me)z	Н	. 2C00.	2
14	N(Me) _a	N(Me)z	Н	SbF,	1
15	n-C ₄ H ₈	H	Н	SbF _a	1

を得た。

(突旋例3)

実施例1において、前配化合物 M 1の代わりに前配化合物 M 11を用いた以外は同様にして記録媒体を得た。

(突施例4)

実施例1において、上記色素(I)の代わりに前記色素(I)を用いた以外は同様にして記録媒体を得た。

(実施例5)

実施例1の基板と同様の案内部形状を有するスタンパーを用い、射出成形によりポリカーボネート基板を得た。その上に下記色素(皿)及び前記化合物 Na 2を100:15の重量比でメタノール/イソプロピルアルコール/1,2-ジクロルエタン(重量比7:1:2)に溶解させた後、その溶液をスピナー塗布して

(実施例6)

実施例5において、前記化合物 M2の代わりに前記化合物 M5を用いた以外は同様にして記録媒体を得た。

(実施例7)

実施例5において、前記化合物和2の代わりに前 記化合物 M12を用いた以外は同様にして記録媒体 を得た。

(実施例8)

実施例6において、上記色素(Ⅲ)の代わりに下記色素(Ⅳ)を用いた以外は同様にして記録媒体を 得た。

(比較例1)

実施例1において色素のみの記録層とし、記録

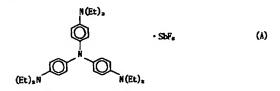
その再生波形のスペクトル解析(スキャニングフィルター、パンド幅30KHz)を行い、反射率及びC/Nを測定した。また、この同じ記録媒体に1KVのタングステン光を20時間、距離30 cm から連続照射して再生劣化加速試験を行った後の反射率及びC/Nを測定した。この場合、反射率は基板個からの平行光により測定した。さらに、この同じ記録媒体に読出しレーザーパワー0・25 mV、線速2・1 m/secの再生条件で繰返し再生試験を行った。この繰返し再生試験では、同じアドレス部を連続して再生するようにした。

以上の測定結果を次数に示す。

媒体を得た.

(比較例2)

実施例1において、前記化合 %1の代わりに下記化合物(A)を用いた以外は、同様にして記録媒体を得た。



(比較例3)

実施例5において色素のみの記録階とし、記録 媒体を得た。

(比較例4)

突施例5において、前記化合物 M2の代わりに下記化合物 (A)を用いた以外は同様にして記録媒体を特た。

前記のようにして特た各記録媒体に、波長790 nmの半導体レーザー光を基板側より記録周波数 1.25MHz、線速2.1m/secで情報を書込み、再生し、

表 - 2

		初期値		再生劣化	加速試験後	繰返し再生100万
		反射率	C/N	反射率	C/N	回後の記録部信号
		(%)	(dB)	(%)	(AB)	出力残存率(%)
実施例	ı	27	56	21	52	. 88
	2	. 26	55	21	52	85
	3	27	55	22	52	86
	4	24	53	·21	51	90
,	5	23	55	21	51	92
	6	22	54	20	51	90
	7	22	55	20	51	88
,	8	32	56	24	52	86
比較明	1	27	56	7	砂定できず	
	2	27	56	22	. 52	.71
- -	3	23	55	11	測定できず	
-	4	22	55	20	51	76

(発明の効果)

本発明では、記録層中に含有させた前記化合物は溶解性及びポリメチン色素との相溶性が高いため、射出成形基板を用いた光情報記録媒体が製造でき、低コスト化が図れる。また、光安定性及び熱安定性が優れているため、繰返し再生特性及び保存安定性が向上する。

特 許 出 顧 人 株式会社 リ コ ー 代理人 弁理士 徳 楠 敏 明 (ほか1名)